

愛知民報

2017年
4月2日
第2345号

発行所 愛知民報社

〒460-0007 名古屋市中区新栄三丁目12番25号
愛知あかつき会館内
☎(052)251-2925 FAX(052)261-6063
定価 月400円 郵送料164円 1部100円
毎週日曜日発行(第5日曜日は休刊)
1966年7月31日第三種郵便物認可

週刊
愛知民報を
周りの人に

話し合ったら犯罪? 国民監視の大悪法

「共謀罪」は廃案に

安倍内閣は3月21日、国民の内心を処罰する「共謀罪」法案を閣議決定し、国会に提出しました。政府は法案名を「テロ等準備罪」と変えましたが、実際の犯罪行為がなくても「相談」や「計画」しただけで処罰する本質は変わりません。「共謀罪」法案はこれまで3度廃案になりました。「市民と野党の共闘で4度目の廃案を」と学習会、デモ、宣伝などで運動が広がっています。

名古屋で集会、デモ

「共謀罪 あなたも監視の対象!」も私も監視の対象!」
「一般人 政府が決めたテロリスト!」「ケータイ・スマホも見られるよ!」
3月24日夕、名古屋市中区栄の繁華街で「共謀罪」法案に反対するデモがおこなわれました。日本国民救済会愛知県本部など人権・平和団体が呼びかけ約400人が参加しました。
出発前集会で、渥美雅康国民救済会本部

会長は、市民生活に警察が深く入り込み監視下に置く▽えん罪の温床になる▽捜査権力の乱用につながる▽自由を引出すための司法摘「実行行為がないのに会話を処罰する本質は変わらない」と強調しました。
花井増實愛知県弁護士会秘書長は、思想信条の自由、集会結社の自由を侵害する」と強調しました。

風力発電所の反対運動をめぐる岐阜県警大垣署が特定の市民の個人情報を知り流した事件の被害者、近藤ゆりさんは「市民運動つぶしだ。国家賠償を求めて裁判を起した」と述べました。
民進党の近藤昭一衆院議員が国会報告。同党の山尾志桜里、日本共産党の本村伸子衆院議員がメッセージを寄せました。



「共謀罪 あなたも監視の対象!」
「一般人 政府が決めたテロリスト!」「ケータイ・スマホも見られるよ!」
3月24日夕、名古屋市中区栄の繁華街で「共謀罪」法案に反対するデモがおこなわれました。日本国民救済会愛知県本部など人権・平和団体が呼びかけ約400人が参加しました。
出発前集会で、渥美雅康国民救済会本部

「共謀罪」法案に反対するデモがおこなわれました。日本国民救済会愛知県本部など人権・平和団体が呼びかけ約400人が参加しました。
出発前集会で、渥美雅康国民救済会本部

「共謀罪」法案に反対するデモがおこなわれました。日本国民救済会愛知県本部など人権・平和団体が呼びかけ約400人が参加しました。
出発前集会で、渥美雅康国民救済会本部

警察権限強化に歯止めを

ジャーナリスト 青木理さんが強調

「秘密法と共謀罪に反対する愛知の会」(秘密保全法に反対する愛知の会)を改称)が3月25日に名古屋市内でおこなった同会結成5周年集会のトークショーで、通信社在籍時に警備公安警察の取材に深く関わり、「日本の公安警察」(講談社)などの著書を持つジャーナ

青木氏は、「警備公安警察は従来情報収集の対象としていた左翼勢力に限らず幅広く監視を付けている」と指摘。「実力組織を持つている治安機関が権限を広げることに政治が無自覚になってはいけません。歯止めが必要」と述べました。

「共謀罪 あなたも監視の対象!」
「一般人 政府が決めたテロリスト!」「監視社会はまっぴら!」などとコールしながら行進する人たちが24日、名古屋市中区

戯評 芝岡☆友衛
現代版「治安維持法」
「テロ等準備罪」
「政治的発言は自由」
「言論の自由」
「表現の自由」
「集会結社の自由」
「思想信条の自由」
「秘密法と共謀罪」
「共謀罪」
「テロリスト」
「ケータイ」
「スマホ」
「監視」
「権限」
「強化」
「歯止め」
「ジャーナリスト」
「青木理さん」
「強調」
「秘密法」
「共謀罪」
「反対」
「愛知の会」
「改称」
「3月25日」
「名古屋市内」
「同会結成5周年」
「トークショー」
「通信社在籍時」
「警備公安警察」
「取材」
「深く関わり」
「日本の公安警察」
「講談社」
「著書」
「ジャーナリスト」
「歯止め」
「必要」
「述べました」

「秘密法と共謀罪に反対する愛知の会」(秘密保全法に反対する愛知の会)を改称)が3月25日に名古屋市内でおこなった同会結成5周年集会のトークショーで、通信社在籍時に警備公安警察の取材に深く関わり、「日本の公安警察」(講談社)などの著書を持つジャーナ

「秘密法と共謀罪に反対する愛知の会」(秘密保全法に反対する愛知の会)を改称)が3月25日に名古屋市内でおこなった同会結成5周年集会のトークショーで、通信社在籍時に警備公安警察の取材に深く関わり、「日本の公安警察」(講談社)などの著書を持つジャーナ

暗黒時代 再来許さず 西田一廣さん

治安維持法犠牲者国家賠償要求同盟愛知県本部長



安倍政権が成立を狙う「共謀罪」法案は、治安維持法の現代版です。戦前・戦中に侵略戦争に反対し抵抗した人々を厳しく弾圧した同法と同じです。「戦争する国」づくりのために、憲法9条を守り戦争に反対する市民が立ち上がることを抑え込むことが目的です。
治安維持法により逮捕されたプロレタリア作家の小林多喜二は警察の拷問により逮捕3日後に命を奪われました。愛知県北方村(現一宮市)出身の岩田義道(日本共産党中央委員)は、逮捕4日後に亡くなりました。
当時、政治犯・思想犯を取り締まった治安機関・特別高等警察は「あやしい」と見たら

投網を打つように捕まえ、拷問で自白を強要しました。捕まった人のうち9割以上は起訴されませんでした。
私は、愛知県ゆかりの治安維持法弾圧犠牲者の氏名を整理しています。作業前は600人でしたが、850人を超えました。
私が在住する名古屋市中区東枇杷町出身の中野太吉は「エスペラント語(国際共通語)で『天皇』と書いた」ことを罪状として捕まっています。
再び戦争と暗黒政治を許さないために、命がけで侵略戦争に反対した治安維持法犠牲者の歴史を語り、「共謀罪」の本質を広く国民に知らせ、法案を廃案に追い込みたい。